

ポラス  
グループ

# 宮城の仮設を阿波踊り慰問

「流し踊り」で仮設住宅の敷地内を練り歩く有志連



名取市の美田園第一仮供が2人いる。多くの仮設住宅地と異なれば、65歳以上が4割を占め、最高齢は90歳。仮設取市・閑上（ゆけあげ）地区の元住民が、ほぼま

とまつて住んでいる。自らは現在、民間の賃貸に移り新築住宅を購入した居住者などが出て行つたため、15戸が空いていた。たまに、住み続ける人たちは行き先を決めるがために建てる予定の災害復興公営住宅への入居を検討している人たちだ

といふ。名取市では今、仮設住宅を巡る問題が起きていた。市内最大規模の仮設住宅地・愛島東部仮設住宅地の用地返還問題だ。地期限が今月末に切れる可能性があるにもかかわらず、行政側が直前まで住民側に説明を行わなか

「高橋さんは毎年ボランティアで訪れる南越谷阿

元に伝わる「閑上大漁

す仮設住まいの人たち」。埼玉・南越谷阿波踊り振興会の有志連が5月25日、「阿波踊り慰問」で富城県名取市の美田園第一仮設住宅地（全128戸）を訪れた。慰問は、埼玉・南越谷に阿波踊りを広めた中内俊三氏を創業者に持つポラスグループ（中内晃次郎代表）が仮設建築に携わったことをきっかけに始まり、今年で3年目を迎える。ポラスグループは同社の有志社員で構成するPO連の参加を含め、阿波踊り慰問の企画と実行を毎年支援している。慰間に同行、現地を訪れた。

## 仮設建築契機に3年目

せるよう行政に強く働きかけたためだ。

美田園第一の仮設住宅

を、南越谷

仮設から100戸程遠

いいたり、2017年度までに建てる予定の災害復興公営住宅への入居を検討している人たちだ

といふ。

名取市では今、仮設住

宅を巡る問題が起きていた。市内最大規模の仮設住宅地・愛島東部仮設住宅地の用地返還問題だ。地期限が今月末に切れる可能性があるにもかかわらず、行政側が直前まで住民側に説明を行わなか

うなことは起きないと

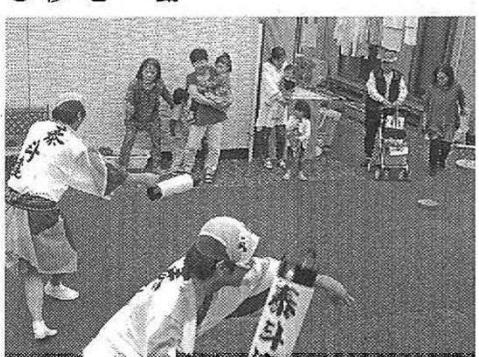
思つが」と話す。

高橋さんは毎年ボラン

ティアで訪れる南越谷阿

元に伝わる「閑上大漁

音色に誘われて見学する住民



集会所の前で住民と共に

波踊り振興唄の踊りを教え、有志連が慣れない身振りで踊る一幕も。ひとしきり踊ったのちに集会所で休憩。慰問の阿波踊りは敷地内道路に沿って、南越谷阿波踊り振興会の有志連は移動バスに乗り込み、住民と一緒に手を振った。

波踊り振興会の有志連が慣れない身振りで踊る一幕も。ひとしきり踊ったのちに集会所で休憩。慰問の阿波踊りは敷地内道路に沿って、南越谷阿波踊り振興会の有志連は移動バスに乗り込み、住民と一緒に手を振った。

波踊り振興会の有志連が慣れない身振りで踊る一幕も。ひとしきり踊ったのちに集会所で休憩。慰問の阿波踊りは敷地内道路に沿って、南越谷阿波踊り振興会の有志連は移動バスに乗り込み、住民と一緒に手を振った。